四国森林管理局 森林技術・支援センター

次世代につなげる森林づくり

NO.２６

平成 28 年 11 月 1 日

◆平成二十八年度 森林総合監理士育成研修事業「技術者育成研修四国ブロック」を開講する。

◆十月三日～六日の四日間、将来の森林総合監理士を育成するため、今年度も四国ブロックでの「技術者育成研修」を実施しました。

◆「技術者育成研修」は、森づくりの理念と循環的な木材生産の基礎的な知識・考え方についての講義を中心とした「中央研修」と構想力を身に付けるための実習・演習を中心としたブロック研修となっています。

◆今年度の四国ブロックでの受講生は、一九名（県・市職員六名、国有林職員四名、法人・民間九名）で、高知市の「オリエントホテル高知」を主会場に実施しました。

◆十月三日（初日）は、森づくりの構想の講義及び資源循環利用構想で、机上の図面により、森林計画・林道計画を作成する演習を行いました。

挨拶する木村次長

研修会場内の様子

森林計画の演習

◆十月四日（二日目）は、実際に現地の森林を遠望したり、林内に入り、森づくりの構想を描きそれぞれが発表する演習を行いました。

森づくり構想実習（木の観察）

森づくりの構想の発表

◆十月五日（三日目）は、現地を確認後、間伐計画や林道計画の見直し、十年間の森林計画を計画する演習を行いました。

計画の見直し？

森林計画熟慮中！

図面を基に山の見方

林業専用道計画の説明

◆十月六日（最終日）は、森林総合監理士として、関係市町村長（首長を想定）に、十年間の森林計画構想を発表・説明及び質問する演習を行いました。

首長の立場で質問

首長に対し説明

大山局長を囲んで

★恒例の「久万林業祭り」に今年も参加！「軽量「シカ囲いわな」」をPRする。

★十月十六日（日）、愛媛県久万高原町において、町主催による「久万林業まつり」が開催されます。今年も主催者から参加要請を受けました。

★宣伝にも努めました。

★今年出展数は、四十六回を数えます。多くの来場者があり、大盛況の催しとなりました。

★久万地域に農作物被害をもたらしているニホンジカの捕獲用に、現在、ワナ（囲いわな）を展示、軽量化し普及に努めました。

パネル等を興味深く見入る来場者

親子連れも興味深く！

ほとんどの見学者は、ニホンジカの食害は、現在、久万地域に深刻な様子であることを理解されました。

農作物の被害を減らすためには、ニホンジカの捕獲と、ワナ（囲いわな）の設置が必要であることを説明しました。

寄せられる質問の多くは、ニホンジカ食害の地域に深刻なお悩みを抱えていらっしゃる方々からのものでした。

シカ食害の地域に深刻なお悩みを抱えていらっしゃる方々からのものでした。

久万